

我が国大学の致命的欠陥

At
四国地区大学・教職員能力開発
ネットワーク

桜美林大学
大学アドミニストレーション研究科
諸星 裕



ミッションの欠如

- いったいこの大学は何をやる場所なのか？
- ミッションに沿ってカリキュラムは編成されているか
- カリキュラムに沿って教員は雇われているか
- 学生の選抜は上記に基づいているか？
- 外部によるミッションの点検、評価は？
- ミッションは変化しているか？



学部教授会の職責とその弊害

- 学校教育法
- 学部とは？
- 学部間の壁
- 学生の自由な勉学環境を不可能にしている



教員のAccountability

- 大学教員は何をする職業か？
- 教育(教育力をいかにして養うか？)
- 研究
- 学生の成長に貢献
- 大学及び外の社会への貢献
- 上記4点のバランスは誰が決めるか？



職員の専門性の欠如

- 終身雇用制・Generalist vs. Specialist
- 専門性の低さに起因する従属的關係
- 職員と教員のパートナーシップ



学外との距離、閉鎖性

- 大学はコミュニティの財産である
- 大学のステークホルダーを理解する
- 他の教育機関との連携
- 産業界との連携
- 情報の開示と共有



システムの欠如

- 大学の管理体制/組織としての弱さ
- カリキュラムは誰が管理する？
- 教員評価の欠如
- 大学の産物は単位である—単位制授業料
- F.T.E.(Full Time Equivalent)
- アドバイザー制度、G.P.A.

まとめ

- ミッションの再確認とカリキュラムの再構築
- 大学マネジメント組織のプロ化
- 学生本位 VS 学問体系本位
- 学生と大学のマッチング
- 教職員の職責とパートナーシップの確立
- 社会との距離の再定義

GPAとは

- 学期ごとの成績を数値化し平均点を出すこと
- A-4 B-3 C-2 D-1 E-0

GPAの計算例

科目	成績	単位	成績点	G P
口語表現 (1単位)	A	1	$1 \times 4.0 = 4.0$	
英語 I (4単位)	B	4	$4 \times 3.0 = 12.0$	
情報科学 (2単位)	B	2	$2 \times 3.0 = 6.0$	
宗教学 (2単位)	A	2	$2 \times 4.0 = 8.0$	
心理学 (4単位)	C	4	$4 \times 2.0 = 8.0$	
調査研究法 (2単位)	D	2	$2 \times 1.0 = 2.0$	
家族社会学 (4単位)	E	4	$4 \times 0.0 = 0.0$	
テニス (1単位)	B	1	$1 \times 3.0 = 3.0$	
				20 43.0
GPA				$= 43.0 \div 20 = 2.15$
履修合計単位数				20単位
修得単位数				16単位

履修登録単位数の上限の変動

- 基準単位数20単位/セメスター
- GPA3.5以上 → 次学期28単位まで
- GPA3.0以上 → 次学期24単位まで
- GPA2.0未満 → 次学期16単位まで
- (2学期継続で保護者呼び出し、3学期継続で退学勧告)

GPAの用途(例)

- 学修の進歩・到達状況をモニター
- 学修計画や進路の指針
- 奨学金の給付の基準等
- 自動車保険の料率の積算(米国の例)

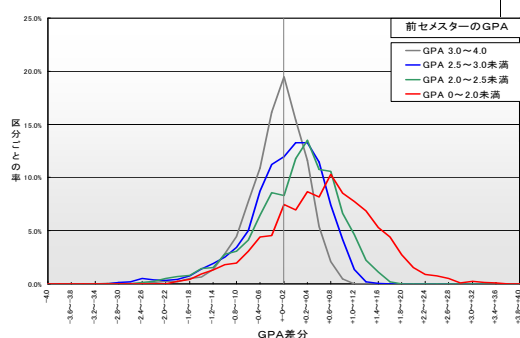
GPA制度に期待される効果

- 学生の意識高揚
 - 単位の数より学習の質
 - 履修責任
- 教育内容の向上
 - 学生からのチェック
 - FDに活用
- 教育施設の有効活用

GPA制度導入のための必要条件

- セメスター完結型の学期構成
- 学習支援体制の確立
 - アカデミック・アドバイザー制度
- 単位の実質化

次セメスターのGPA変動



ご清聴ありがとうございました。

桜美林大学 諸星 裕
morohosh@obirin.ac.jp